



議会だより

# たかねざわ

4

April.2020  
No.151



## 令和初 卒業式

みんなの笑顔が  
高根沢の  
未来を創る

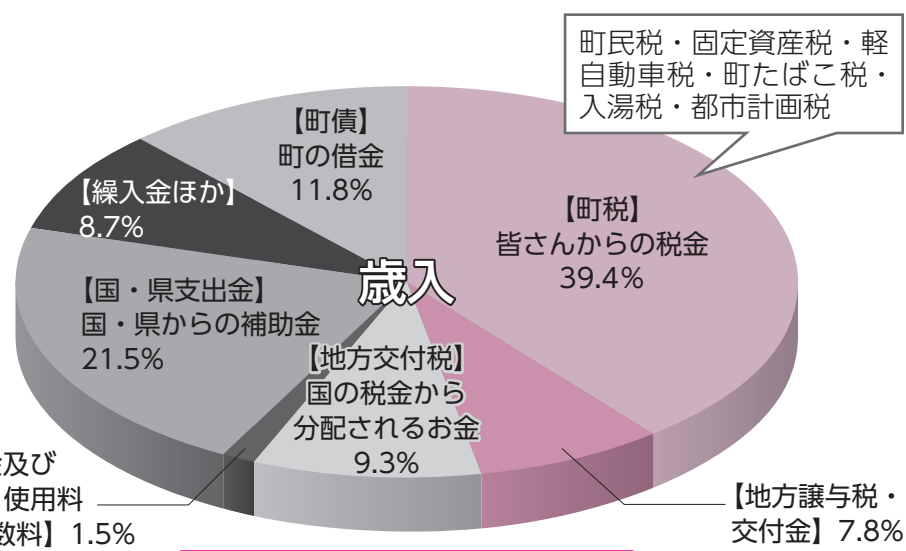


### Contents

- 第399回(3月)定例会 ..... 2
- クローズアップ 令和2年度新規事業 ..... 4
- OH豆知識 ..... 14
- 一般質問  
(町政・教育・地域共生社会など) ..... 15
- 特集ページ  
(子育て世代が望む町の未来像) ..... 22
- 突撃インタビュー ..... 24

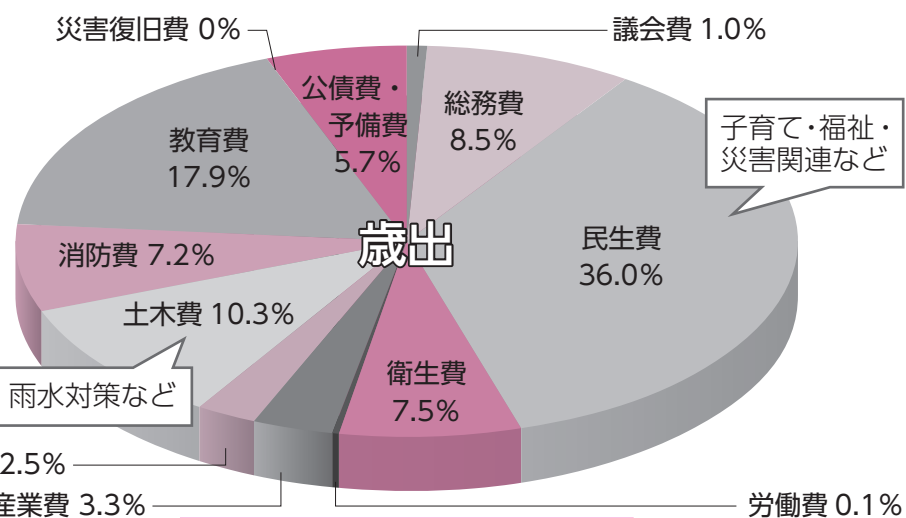
# 会計予算 総額107億6000万円

## 」 予算が組まれる



前年度との比較

名目	令和2年度	令和元年度	増減比率
町税	42億4958万円	42億3992万円	0.23%
地方交付税	10億円	14億5900万円	△31.46%
国・県支出金	23億1094万円	17億1181万円	35.00%
町債	12億7150万円	9億4720万円	34.24%



前年度との比較

名目	令和2年度	令和元年度	増減比率
民生費	38億8286万円	33億3790万円	16.33%
教育費	19億2638万円	15億8248万円	21.73%
土木費	11億0303万円	8億5242万円	29.40%
農林水産業費	3億6003万円	6億1990万円	△41.92%

**第399回議会定例会のあらまし**

定例会は、令和2年3月3日から3月12日までの、10日間で開催しました。議案は、固定資産評価委員の選任同意2件、「町子ども条例の制定」、「町歯及び口腔の健康づくり推進条例の制定」の2件、条例の一部改正7件、補正予算6件、当初予算7件、諮問1件の全25議案と、陳情2件を審議しました。

一般質問は5名の議員が行い、教育や防災、元氣あつぷむら、医療などについて町政を問いました。さらに、予算特別委員会を設置し、議員全員で新年度予算を審査しました。定例会の傍聴者数は、延べ15名でした。

# 過去2番目に高い予算規模 令和2年度一般 町民の「福祉 高まる

## 第2期総合戦略がスタート

令和2年度に、第2期「高根沢町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が始まります。

「人口の自然増加」を重点に置き、今後6年間の基本目標に

1. 安心して産み子育てができる町
  2. 子育てに適した生活環境・生涯にわたり住み続け、働ける町
- を掲げ、少子化対策・出生率向上の推進に合わせ、子育て・福祉・教育の重点事業も実施していきます。

## 令和2年度 高根沢町当初予算 総括表

予算項目	令和2年度	令和元年度	伸び率%	
一般会計	107億6000万円	103億0000万円	4.5	
特別会計	国民健康保険	26億3769万円	27億1390万円	△2.8
	後期高齢者医療	2億8556万円	2億7154万円	5.2
	介護保険	23億3886万円	21億6713万円	7.9
	宝積寺駅西第一土地 区画整理事業	1億2127万円	1億1773万円	3.0
水道事業会計	7億1879万円	7億5741万円	△5.1	
下水道事業会計	14億0432万円	12億4882万円	12.5	
合計	182億6650万円	175億7656万円	3.9	

## 社会福祉の高額事業

### 民間保育園整備事業

1億8750万円

〔財源〕

- ・国県費 1億2500万円
- ・町費 6250万円



社会福祉法人幸世会「空と大地保育園」の新築・建替え等に伴う、施設整備に係る補助事業です。

### 特別養護老人ホーム整備事業

1億6213万円

〔財源〕

- ・国県費 1億4183万円
- ・町費 2030万円

町の地域密着型特別養護老人ホームを整備する法人に対し、補助をする事業です。(29床を増床)

### 東小学校校舎解体事業

2億8560万円

〔財源〕

- ・地方債 2億5300万円
- ・学校整備基金 3000万円
- ・町費 260万円



旧東小校舎の解体工事で、外壁等にアスベストが含まれていた事から工法等の見直しが必要となり、工事を令和2年度まで延長しました。



充実した子育て施策の推進に期待!!

条例の特徴に「学びの支援」や、地域社会全体で連携・協働した「子ども施策の計画策定」についても規定されています。

この条例は、「子ども施策」の基本条例として位置づけられ、町の基本理念を定めました。

条文には、本町の子ども達が、健やかに育ち・学び、また安心して子育てができる社会の実現を目指すため、町の責務や保護者・地域住民の役割、推進体制などが明記されています。

### 概要

### 子ども条例を制定

# 令和2年度 一般会計予算 注目事業をクローズアップ



## 橋架け替え更新事業費 1億6119万円

砂部工業団地東側に架かる橋梁点検の結果、修繕の判定がされ、架け替え工事を行う。



## 通学路安全対策事業費 207万円

通学路合同点検の結果、西小学校の西側道路が危険と判断され、区画線や路肩の整備を行う。



## 道普請事業費 300万円

地域の方が労力となり、未舗装道路をコンクリート舗装にするため、必要な資機材等を町が負担。

### 「インフラ整備」分野



## 高齢者外出支援事業費 263万円

外出支援として、80歳以上の方が無料でデマンド交通を利用できる。



## 要支援者等 外出支援事業費 50万円

要支援者の外出支援や、社会参加に繋げるため、福祉有償運送の利用料を一部助成。

## ご長寿祝福事業費 215万円

95歳、100歳になった方の長寿を祝い、敬老の意を表すため、記念品を贈呈。

### 「生活・福祉支援」分野



## ハザードマップ 更新事業費 336万円

五行川と防災重点ため池の浸水想定区域図など、最新データに基づき、ハザードマップを更新。



## 自主防災組織育成事業費 181万円

防災士の取得費用補助と、自主防災組織に必要な資機材の購入費を補助。

## 交通安全意識醸成事業費 32万円

高齢者が運転免許を自主返納した際に、たんたん号の回数券を交付。

また、高齢者の事故予防に、踏み間違い防止機能を設置する費用を補助。

### 「地域防災・防犯」分野

「地方創生・産業・商工」分野



「とちぎの星」活用  
プロモーション事業費  
2805万円

町産「とちぎの星」を活用し、ブランド設計・広告宣伝・イベントでのマーケティング調査を行う。



「とちぎの星」を  
核とした農産物販売  
促進事業費  
49万円

「とちぎの星」を中心に、農業体験を通し、町産の農産物をPR。



創業支援事業費  
712万円

町、商工会、金融機関が、町内で起業・創業を目指す方の支援と、創業者へ家賃の一部を補助。

「子育て・教育」分野

産科誘致補助事業費  
1億円

安心して産み育てられる環境整備のため、町内で分娩を取り扱う産科医院を開設する際に、費用の一部を補助。



赤ちゃんの駅  
設置推進事業  
13万円

地域で子育てを応援する環境を作り、子育て世代の外出支援に繋げる。

授乳・おむつ替えができる施設を持つ事業者等に協力してもらい、その施設名や場所等を周知。



ICT教育推進事業費  
3580万円

ICT機器を活用した教育を推進するため、小・中学校にタブレットPCや電子黒板等を導入。

「健康・生涯学習」分野

生活習慣病予防事業費  
209万円

健康診査後の健康状態に応じ、生活習慣の改善に向け、健康相談や教室を開催。



たかねざわスポーツ  
フェスタ事業費  
200万円

町民が気軽に参加できるスポーツイベントを開催し、スポーツを親しむ契機や、健康増進・コミュニケーションの向上を図る。



町民広場陸上競技場  
改修事業費  
1億3800万円

とちぎ国体開催に向け、天然芝の張替え等を行い、より使いやすい施設に改修。

# 総務常任委員会 審議報告

## 議員のなり手不足解決への一歩

地方議員の社会保障制度の拡充を求める意見書

### 陳情内容

本陳情は、昨年12月に、当委員会に付託され、報酬額や個人・自治体の負担の問題、議員のなり手不足の要因など、様々な意見が交わされたが、継続調査となりました。

### 審査結果

3月定例会の委員会で再審査し、社会保障を拡充した時のメリットとして、地方議員が厚生年金に加入できれば、民間会社から議員に転身しても、切れ目なく厚生年金の適用を受けられる。

デメリットは、厚生年金の加入だけで、なり手不足の解消にどれだけ貢献できるかは不透明などの意見が出されました。

採決した結果、賛成多数により採択となりました。

また、当議会から国に対する意見書は、厚生年金の加入だけでなく、議員報酬等の改善を含む社会保障制度の法整備を求める案を、当委員会としてまとめ、議会発議として上程しました。

# 一般会計補正予算審議

## 主な質疑

どうすれば増えるふるさと納税

### Q

ふるさと納税寄付金が減額補正となっているが、今後の対応は？

### A

総務課長

今後、「とちぎの星」などの返礼品を増やしていく、寄付者が増えるよう努力していく。

いいとこ高根沢一度は住んで

### Q

※移住支援金交付事業が減額補正となっているが、申請はなかったのか？

### A

企画課長

問い合わせが3件あったが、交付基準に合致せず不採用となり、予算を減額した。

※移住支援金交付事業とは

町への移住・定住促進と中小企業等で人手不足対策のため、東京圏から町内へ移住し、就職や起業した方へ移住支援金を支給します。

### 「支給額」

世帯	100万円
単身	60万円



大嘗祭米「とちぎの星」効果に期待

# 建設産業常任委員会 審議報告

## 一般会計補正予算審議

## 主な質疑

台風被害の余波

### Q

台風19号の増水により被災した、鬼怒川本流下部を横断している農業用施設逆木サイフォン（暗渠）災害復旧事業の総事業費と、負担割合は？

### A

産業課長

総事業費は3億を見込み、その65%が国の補助で、残りを関係7市町で負担する。本町の負担は受益面積で算出され、残り35%分の1億500万円に対し、約21%分の2204万円となる。



本町の田園に必要な用水元が被災 農業者への不安解消に向け早期復旧を！

# 教育福祉常任委員会 審議報告

## 一般会計補正予算審議

### 主な質疑

ICT環境の整備

**Q** 無線LANの整備状況は？

**A** 学校教育課長

全ての学校に整備されている。  
今回、通信速度を上げる整備をする。

待機児童ゼロの証明

**Q** 各保育園の予算減額理由は？

**A** こどもみらい課長

当初、保育士の賃金を児童受け入れ可能最大額で計上した。  
実績見込みにより、減額した。



充実した保育は保育士で決まる

## 条例の制定

子ども施策の根幹

子ども条例の制定

概要はP3参照。



すくすく育て町の宝！

### 主な質疑

**Q** 子どもの定義を15歳としているが、18歳にすべきでは？

**A** 学校教育課長

この条例は、子どもの学びを地域社会全体で包括的に展開できるようにしたものであり、15歳以上の施策は、個別に対応していく。

## 陳情に関する審査

介護福祉職員の給与を当面4万円引き上げることがを国に求める陳情

### 陳情内容

介護現場の職員が不足し、介護が成り立たない深刻な状況があり、その要因が低賃金です。  
これを改善するため、給与を当面4万円引き上げる助成制度の新設を、国に求める内容で、昨年12月に審査したが、継続審査となったため、再度審査しました。

### 審査結果

介護職員の処遇改善措置が、平成29年度に改定され、介護報酬がプラスになったことや、令和元年10月に勤続10年以上の介護福祉士は、月額8万円の処遇改善加算がされました。  
また、介護職員の平均給与状況は、年々上昇しています。  
以上の事から、反対多数で不採択となりました。

## 条例改正

循環型の店舗運営スタイルへ

### 説明

施設の占用的利用に係る許可期間を、原則3年以内にし、2年を超えない範囲で1回限り延長できるような規程します。

### 主な質疑

**Q** 許可期間が原則3年だが、最長で5年にした理由は？

**A** 都市整備課長

現行条例の中に、許可期間の明示がなく明文化した。



期間を明確化し、実店舗創業を目指してもらう

総務常任委員会 日常報告

現在の財政は健全なの？

現時点における財政状況は、健全化判断比率からすると健全な状態にあります。

しかしながら、将来発生する経費がどれくらいなのか捉えきれず、有形固定資産減価償却率は、全国・県平均と比較すると高い水準にあります。

全国平均	59.3%
県平均	53.5%
本町	70.9%

H29年度時点



進む公共施設の老朽化

今後の大きな財政措置

公共施設の老朽化が進んでおり、維持修繕には多額の費用が必要になってきます。

また、扶助費等は年々増加傾向にあり、生産人口の減少に伴い、財源確保が難しくなってくると予測されます。



町政の運営に大事な役割を担う職員

必要な公共施設の維持

修繕には、過度な負担を先送りせず、計画的に町債を活用し、また国庫補助金などの特定財源を積極的に確保して、限られた財源を必要とする事業に集中し、健全な財政運営に努めることが望まれます。

町への提言

平成28年スタートの、「町地域経営計画」も令和2年度で前期が終了し、新たに5年間の後期計画を策定し、令和3年度よりスタートします。

基本理念にある「希望の持てる町を後世に引きついでいく」を継続し、町民の生活実感を上げるため、現状にあった柔軟な計画となっています。

計画を執行するには、町政運営のバランスを取りながら、財源や人員などの資源を、上手に活かすことが重要であること提言しました。



令和2年度経営方針

※この方針は、町職員に向け示した「政策管理方針」と「財政運営指針」です。

建設産業常任委員会 日常報告

農業が変わる

農業が抱える課題に、後継者不足や食料自給率の低下があります。

その一方で、ハイテク技術や最先端農業の技術開発も進んでいます。

次世代農業を紹介する見本市では、ドローン・農業IoT、農業ロボット等が出品され、中でも再生可能エネルギーとIoTを駆使した植物工場は、未来の農業への進化が見られました。



自動化が進む農業！ロボット技術で省力化に（アスパラガスの自動収穫）

町への提言

例えば、「スマート農業による農業の生産性向上」という政策目標があれば、農林水産省だけでなく、経済産業省、総務省、中小企業庁などの補助金が活用できる場合があり、幅広く情報を収集して農業者への情報提供を望みます。



本町の地域コミュニティの推進における  
※地域包括システムは？

本町の福祉課題として、「地域包括ケアシステム」の構築があります。

システムの構築を図るために、どのような仕掛けや仕組みが必要であるかを、本町の現状と課題を分析しつつ、2年間にわたり調査してきました。

その結果、この事業を推進するのに必要なことは、町民の理解促進が鍵となります。

互助力の形成や、弱者をみんなで支えるという

意識の変革など、思いやりの精神を高めていくことが一番の近道であり、住民同士で話し合いをし、共有し合い、そこに行政として協力できる資源は何かを検証することにより、問題解決につながるかと考えられます。

また、本町の多職種連携に必要な事は、人・モノ・金・情報を、如何に提供できるかがポイントです。

よって、今後行政として、町民の意識改革につながる施策を講じることが提言いたします。

※地域包括ケアシステムとは日常生活圏内で「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」の5つのサービスを高齢者などのニーズに応じて一体的に提供する体制こと

保育園の運営のあり方は？

子育て支援の核となる

「保育園」のあり方で、本町に見合った制度設計とは何かを調査・研究・熟議をしてきました。

その結果、「公私連携型保育園」が、本町にも適した在り方であると結論に至りました。

町有財産を譲渡し「公設民営」から「民設民営」に移行したのは、「たから保育園」と「ひまわり保育園」の2園。

「公私連携型保育所」

当委員会より、「公私連携型保育園」へ移行する場合の条件に

- ①譲渡する施設、設備の明文化
- ②土地の不譲渡
- ③協定機関の設定
- ④協定不履行による協定の無効化
- ⑤保育事業の再委託禁止
- ⑥行政調査の協力及び資料提出
- ⑦定期的な保護者アンケートの実施
- ⑧現在行っている保育サービス及び特別保育の継続
- ⑨保育事業が停止となった場合の措置

が必要であることを訴えました。

奇しくも、行政が出した方向性と、当委員会の結論がほぼ一致し、新たな形で充実した保育サービスの運営に期待が持たれます。



子どもの成長は町民の願い

雨水対策の向上を図る

本町での施工例

雨水対策へ向けて

近年、気象の変化で集中豪雨の多発や、局地的豪雨化の傾向があり、本町でもその対応が課題となっています。

そこで、「プラスチック製雨水貯留槽浸透施設ジオプール工法」を調査研究しました。

その特徴は、1日当たり200m<sup>2</sup>の施工が可能で、コンクリート構造に比べ低コストであり、貯留率が93%と高く、効率よく雨水をコントロールすることができま

す。この製品は、容器包装リサイクル法の適用を受けた再生プラスチックを原材料にし、省資源・資源有効活用と、効率的な洪水抑制を同時に実現しています。

町図書館中央館と、宝積寺駅東口ロータリーに施工されています。

また、令和2年度、みんなの広場玄関前雨水対策について、プラスチック製雨水貯留槽を施工する予定です。

町への提言

局地的豪雨に対応できるように、定期的な雨水浸透枳の清掃や現状に沿った浸透枳の増設、また都市整備課と上下水道課で雨水対策の解決に向けた計画を、早期に立てるよう提言します。



駐車場等の地下に雨水を貯留できるジオプール工法

# 予算特別委員会審議

## 「人口減少の克服」・「地方創生の実現」に向け 明確な「令和2年度当初予算」が組まれる

予算特別委員会は、3日間に渡り、全会計を審議しました。

各委員より、264件の質疑がされました。議会と行政のやり取りの一部を、紹介します。

### 主な審議内容

本町に産科が来る？

産科誘致補助事業  
予算額 1億円

Q

産科誘致は、どのように進めるのか？

A

健康福祉課長

今後、開業予定を考えている医師や、産科の新設を予定する医療機関に、情報提供を行っていく。

おいしい本町産の農産物を給食に！

学校給食町内産利用拡大事業  
予算額 1億2038万円

Q

地産地消を踏まえ、町内産の野菜等の利用拡大と、町内産「とちぎの星」の提供はするの？

A

学校教育課長

「町食育、地産地消推進行動計画」のもと、利用率向上を図っている。

今後、町推奨の園芸6品目は、収穫時期に旬な食材として提供し、町内産「とちぎの星」も年に数回は提供する。

「園芸6品目」とは  
枝豆、玉ねぎ、夏秋なす、春菊、アスパラガス、イチゴである。



ふっくらとおいしい「とちぎの星」

活用される運動場を

町民広場陸上競技場改修事業  
予算額 1億3800万円

Q

工事で利用出来ない期間に、代替施設の確保はされているの？

A

生涯学習課長

令和3年1月開催の、「元気あつぷ HALFマラソン大会」終了後に工事を着手し、10月まで利用できない。

代替施設に、野球は町民広場専用球場とキリン運動場。

グラウンドゴルフは、野球専用球場。

ゲートボール場は、工事に支障がなく、利用できる。



国体開催に向け天然芝張替整備

通学路を安全に

通学路安全対策事業  
予算額 207万円

Q

通学路合同点検で令和2年度の対処率は？

A

都市整備課長

点検の実施結果が、都市整備課所管で、15件あった。

令和2年度は、13件分が整備完了し、対処率は、86.7%になる。



安全対策として外側線を整備する

大嘗祭の記念碑はどこ？

大嘗祭メモメント設置事業  
予算額 100万円

Q

どのような物を、どこに設置するの？

A

企画課長

歌人※「篠 弘氏」が大嘗宮の儀で詠まれた「稻春歌」の石碑を、宮内庁の見解で、広く国民が目に見える場所に設置する。

稲春歌  
年ごとに  
稲田ひろごる  
高根沢  
杵つく香り  
町をうるほす

※プロフィール

歌人、近代短歌研究者。短歌結社「まひる野」代表。日本現代詩歌文学館館長。日本文藝家協会理事。

# 町民の負託に応えた各議員の賛否!!

## 令和元年度3月定例会 議案と審議結果

上程された議案&概要 賛成：○ 反対：×	澤畑 宏之	高根 博	佐藤 晴彦	鈴木伊佐雄	中山喜美一	加藤 章	齋藤 誠治	梅村 達美	横須賀忠利	小林 栄治	神林 秀治	森 弘子	野中 昭一	鈴木 利二	阿久津信男	結果	掲載ページ
※ 齋藤武男議員は議長のため採決に加わりません。																	
<b>令和元年度補正予算</b>																	
一般会計 2857万円を増額し、補正後の予算額は108億4708万円	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決	P6,7
国民健康保険特別会計 341万円を増額し、補正後の予算額は27億6284万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	
<b>令和2年度予算</b>																	
一般会計 歳入・歳出それぞれが、107億6000万円を計上	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	可決	P2,3,10
国民健康保険特別会計 歳入・歳出それぞれが、26億3769万円を計上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	
後期高齢者医療特別会計 歳入・歳出それぞれが、2億8556万円を計上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	
介護保険特別会計 歳入・歳出それぞれが、23億3886万円を計上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	
<b>陳情審査</b>																	
介護福祉職員の給与を当面4万円引き上げることを国に求める陳情（不採択）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	P7
厚生年金制度への地方議会議員の加入を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	可決	P6
<b>議員発議（意見書）</b>																	
地方議会議員の社会保障制度の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	可決	P6

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。  
 また、全議案の採決結果を確認したい場合は、高根沢町ホームページ内の「高根沢町議会」を開き「定例会採決結果」をご覧ください。か、誌面掲載のQRコードでアクセスしてください。



### 表紙写真紹介

今号の表紙を飾った写真は、3月7日に行われた「阿久津中学校 卒業式」で撮影したものです。

一時は、新型コロナウイルスの影響で開催が心配されましたが、規模・時間短縮などを図り、式を挙行することができました。

令和最初の卒業生は、2011年の東日本大震災直後に小学校へ入学し、義務教育のスタートを切りました。

そして奇しくも、義務教育の最後に「新型コロナウイルス」が邪魔をし、新たな門出となる卒業式が盛大に挙行できませんでした。

しかし、表紙写真から見てとれるように、笑顔にあふれ、これから進む未来に向かい力強く歩んでくれると思える表情に、「卒業おめでとう」、「生まれてきてくれてありがとう」という感情が素直に出てきました。



# ※ 西小の改修工事で「アスベスト」が見つかる 安全な学校施設を子ども達に



安全安心できる西小学校へアスベスト完全除去

**主な変更理由**  
外壁の下地調整材に、アスベストが含まれていることが判明した。これにより、クラック補修工法を変更するなどアスベスト対策が必要になった。  
新たに、アスベスト除去工事を行うことで、工期を延長する必要がある。これに伴い、工事費が増額となる。

## 西小学校大規模改修工事の変更

### 変更請負金額

(変更前)

2億5711万円

(変更後)

3億6269万円。

工期は、3月22日までの174日間延長する。



西小外壁工事の施工風景

※アスベストとは  
極めて細い繊維、熱、摩擦、酸やアルカリにも強く、丈夫で変化しにくいという特性をもっており、建材、摩擦材といった様々な工業製品に使用されてきた。  
しかし、肺がんや中皮腫を発症する発がん性が問題となり、現在は原則使用が禁止されている。

## 財産取得

### おいしい給食を 安全に届けます



美味しい給食で笑顔になる子ども達(上高小)

### 学校給食配送車 2台購入

使用中の給食配送車は、平成10年車で、20年以上経過し、走行距離は15万キロを超えたことから、新車を購入する。  
**契約金額**  
1300万円

## 財産取得の変更

業務用洗濯機が不要になった理由

当初、リネンのクリーニングを直営で行い、業務用洗濯機を購入する計画だったが、クリーニン

「道の駅たかねざわ  
元気あっぷむら」備品購入

グ業者に委託できる見通しが立ち、不要になった。

指定管理者との協議で、購入機器の一部が変更となった。

当初購入を予定した「業務用洗濯機」1台が不要となり、新たに「冷蔵ストッカー」1台が必要

「業務用洗濯機」1台が不要となり、新たに「冷蔵ストッカー」1台が必要

要となったため、購入機器の入れ替えをする事になった。

冷蔵ストッカーの  
必要理由

グランピング施設を利用する方に、飲み物を提供するために整備する。

必要理由

グランピング施設を利用する方に、飲み物を提供するために整備する。

必要理由



グランピング場に常設する冷蔵ストッカー

# 398回臨時会

## 工期終了間際になぜ？ 「元気あっぷむら工事請負契約の変更」

当初計画が甘すぎる！ 工事契約は綿密に行うべき

道の駅休憩施設新築工事の変更（1月臨時会）

### 主な変更理由

工事発生土が、当初見込んでいた土量より増加したことで、積込、運搬等の処理が増えた。

また、外構工事で、利用者の利便性を考慮し、施設前スペースのアスファルト舗装を透水性アスファルトに変更。

### 変更請負金額

（変更前）

1億4181万円

（変更後）

1億4720万円

### 工事期間の変更理由

台風19号の、災害復旧工事等で、建設関連業者の人員確保に影響が出ており、工期を28日間延長し、3月13日までとした。

滞在型宿泊施設建設（親水公園グランピング施設）工事の変更（2月臨時会）

### 主な変更理由

1 池の堤体部分で立ち入り防止柵の材料を、防腐剤注入材を使用

2 張芝工を、施設、構造物付近を追加し、当初の1072㎡から1985㎡に変更。

3 既存管理棟の改修で、2階外壁面の下地が腐食しており、全面張替を追加。

4 大雨の時に、管理棟屋内へ雨水の侵入が確認され、2階床の防水処理を追加。

### 変更請負金額

（変更前）

4億4万円

（変更後）

4億1487万円



泊まった人しか味わえない空間

### 工事期間の変更理由

キャンピングトレーラーの納入は、アメリカから船で輸送されるが、直近で日本向けの船便数が減少した。

これにより、当初1便で全台数輸送を予定したが、2便に分けての輸送となり、搬入に2週間程の遅れが生じ、工期延長が必要となった。

工期を8日間延長し、3月27日までとした。

写真で見る「元気あっぷむら&道の駅」

親水公園グランピング



最新のキャンピングトレーラー

情報発信館



オシャレな「情報発信館」

和食レストラン



本館2階の「いな穂」  
美味しい和食膳が堪能できる

温泉



ピカピカになった浴室

「いいじゃないちば」



雰囲気が一変した直売所



「道の駅たかねざわ  
元気あっぷむら」QRコード



# 国会で追及されている 「選挙運動員」の報酬 その疑問にお答えします！

## 「運動員買収の禁止」 公職選挙法では

選挙運動は、各陣営の資金力の差が影響しないよう、「自発的に無報酬で行うのが原則」と決められています。

公職選挙法は、例外的に報酬を支払う際の規定を厳密に定め、規定を超えて金銭や物品を提供することを、「運動員買収」として禁じています。

## 報酬の支払いが認められるのは

選挙カーで支持を訴えるうぐいす嬢や手話通訳者、宛名書きといった単純な労務を担う事務員などに限られ、制限の範囲内で報酬を支払うことができます。

報酬を支払う場合は選挙管理委員会へ届出が必要です。

## 選挙運動の制限

選挙運動の事務に従事する人（選挙事務員）にも報酬を支払うことができますが、選挙事務員は選挙運動を行うことができません。

この他に、労務者という区分もあり、こちらにも報酬を支払うことができます。

また、労務者も選挙事務員と同様に選挙運動を行うことができません。ポスター貼り、ハガキの宛名書きや自動車の運転などといった労務に当たることしかできません。

労務者は人数の制限がないため、多数の労務者を使用することが可能となります。



# ちょっとブレイク 皇室ゆかりの地「たかねざわ」 宮内庁御料牧場が移転開場して51年

## 自然的・社会的条件が 適合し選ばれました

明治8年、内務卿だった大久保利通の発案で千葉県成田市に下総御料牧場として開設され、昭和44年に成田空港の建設にともない、高根沢町に移転開場しました。

広さは約252ha。  
(東京ドーム約54個分)

天皇家、皇族の日常の食事、宮中晩餐会や園遊会などの宮内庁行事に使われる野菜、肉、牛乳、卵を総合的に生産する宮内庁管轄の農場・牧場で、皇室用の乗馬・馬車用の馬も飼育しています。

御料牧場で生産された食料品が一般に出回ることはありません。

平成23年の東日本大震災では、天皇・皇后両陛下のご意向で、豚肉、卵、野菜が支援物資として避難所に送られました。

## 御料牧場の「ぼれ話」 一度は食べてみたい

御料牧場の羊肉を使ったジンギスカンは、宗教上の理由で牛や豚が食べられない人でも食べられる」という理由で、毎年春と秋に催される園遊会や宮中晩餐会の名物料理になっています。

## 長距離走大会の起源

昭和49年には、第一回新春御料牧場マラソン大会が行われ、平成8年元氣あつぷむらがオープンするまで続き、以降は現在の「元氣あつぷマラソン大会」へと引き継がれました。



町民に親しまれた「御料牧場マラソン」

# 町政を問う！

## 5人の議員が登壇

### ◆梅村 達美 議員…………… 16

- ①スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの役割と今後の課題は
- ②子どもたちの休み時間の過ごし方は
- ③教育環境の整備を
- ④学区外の中学校への通学の状況は

### ◆佐藤 晴彦 議員…………… 17

- ①加藤町政2期目の集大成は
- ②高根沢町版コミュニティスクール「みんなの学校」の理解促進を

### ◆齋藤 誠治 議員…………… 18

- ①元気あっぴむらの運営は
- ②新型コロナウイルス対策は
- ③上高根沢小学校の今後の運営は

### ◆澤畑 宏之 議員…………… 19

- ①これからの自治会のあり方と運営は
- ②現在の学校におけるICT教育とこれからのICT教育は

### ◆森 弘子 議員…………… 20

- ①地域共生社会の実現を
- ②国民健康保険制度の実状と改善策は

本紙では、■の質問を要約して掲載しています。

## 一般質問って？

一般質問は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。

議長が、質問と答弁がよくかみ合うように議事を進めるため、質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要で、そのため議員としては、質問の構想を練り、理論構成をして、その要旨を議長に通告する、通告制をとっています。

質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。

詳細は、[YouTube](#)や[DVD・会議録](#)をご覧ください。

### YouTube

各議員一般質問のページにあるQRコード、または、「高根沢町議会第399回」で検索

### DVD・会議録

会議録は、定例会及び臨時会の終了後、約2ヶ月後に発行しています。

役場・図書館(中央館・仁井田分館・上高根沢分館)で貸出し、閲覧ができます。



暮らしの政治を見よう

### 議会傍聴へお越しください

次回の議会日程は、6月2日～11日の予定。  
日程詳細・議事録は、町ホームページをご覧ください。



傍聴の手続き

議会の情報をより早く皆様へ

次回の発行は7月20日予定です。

### 「議会だより」表紙写真募集

写真は町内のイベントや人物、風景を撮ったものをデータで提出してください。

問い合わせ TEL.675-8111

広報誌がスマホで見れて便利

「マチイロ」 & 「栃木イーブックス」を検索



マチイロHP



トチギーブックスHP

# 問学校における悩み相談への対応は

## 答【教育長】配置や体制の充実が課題



体学  
制校

梅村 達美 議員



悩まず相談を！

**Q** 児童・生徒・保護者からの相談体制と、その対応は？

**A** 教育長

本町は、児童・生徒や家庭を取り巻くあらゆる問題に対応するため、スクールカウンセラー2名、スクールソーシャルワーカー1名を配置している。さらに中学校には、県派遣のスクールカウンセラー2名を配置。

また、町は必要に応じて外部機関との連携・協力など、児童・生徒・保護者・学校と、関係機関の橋渡しをするなど、中立的な立場を活かし、問題解決につながる一つの役割を担っている。

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとは？

多様なニーズへの対応

**Q** 今後、充実した相談体制にするために課題はあるのか？

**A** 教育長

相談件数が、平成30年度の実数で、中学校は計872件。小学校は、児童・保護者から1,095件、教職員から521件の計1,616件の相談があった。

相談件数が非常に多く、更にニーズが高まると想定できる。今後、多様な相談にきめ細やかな対応を図るため、配置や体制の充実が課題である。また、「適切な人材の確保が難しいこと」も課題にあり、勤務条件等の工夫・改善に取り組む。

### 問教育環境の整備は

### 答【教育長】「今後の学校運営の検討方針」を策定

学校  
運営

少人数学校の展望

**Q** 今後の、少人数学校への対応は？ また、統廃合の考えはあるのか？

**A** 教育長

本町は、小中学校8校のうち、中央・東・北・上高小学校・北中学校の5校が、小規模校に区分される。今後、小規模校を中心に町内小中学校全体の児童・生徒が、ゆるやかに減少することが推計される。

これらの状況から、小規模特認校の継続を含め、学区のあり方や、学校の統廃合など、様々な点から見直し、検討を行う時期に来たと捉えた。教育委員会は、様々な観点で調査研究を進め、「今後の学校運営の検討方針」を策定した後に、地域や関係者からの意見を伺い、今後の学校運営という難しい課題の解決に向かい、検討を進めていく。



町内5校ある少人数学校の行方は？

遊びから得る学び

**Q** 子ども達の休み時間の過ごし方の状況は？

**A** 教育長

休み時間の校庭では、子ども達は思い思いに楽しんでる。

集団で、自由な遊びをする子が多く、時には問題が起こる事もある。学校での休み時間の遊びは、社会性やコミュニケーション能力を身に付けられる「大切な場」のひとつであると捉える。





# 町加藤町政、2期目の集大成は

## 答【町長】予算編成所信表明で示した通り



佐藤 晴彦 議員



### 決めた施策を継続

Q

町長就任から7年、施策の成果と克服すべき課題は？  
また、長期ビジョンとして「定住人口増加プロジェクト」は、施策の展望に変化はあるのか？

A

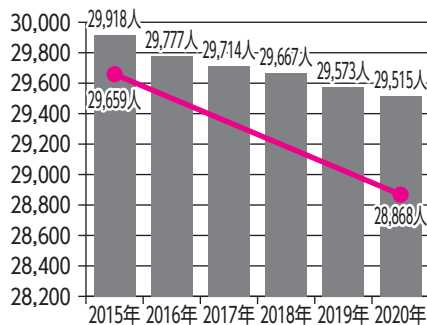
町長

地域経営計画や、総合戦略で示した施策を、継続的な見直しと改善を図り、予算編成している。

施策の評価は、町民の皆様であると考えており、残りの任期に全力を注いでいるので、現時点で総括する段階ではないと考えている。

施策の展望については、平成27年時点での現状を正確な数字で分析し、35年という長期的な視点に立って、取り組みの可能性を示したプロジェクトなので、これに関し施策の展望に変化はない。

### 「不易流行」



人口推移の実数（棒グラフ）と予測人口推移（折線グラフ）

多くの自治体が人口減少対策が課題の中、本町では将来予測よりも緩やかな減少傾向にあり、一定の施策効果があったと言える。

- ※1 各年の人口は、町住民基本台帳及び外国人登録人口（各年4月1日現在）を基に表記しています。
- ※2 2020年の人口は、令和2年3月1日現在の人口を表記しています。
- ※3 予測人口推移は、2018年時点でのRESAS（地域経済分析システム）のデータを基にしています。

Q

2期目最終年度の施策展開は？

A

町長

令和2年度の予算編成で示した通り、「不易流行」の意味で「いつまでも変化しない本質的なものの中にも、新しく変化を重ねていく事が大切」という考えが町政運営でも同様にある。つまり、「今後も変わり続ける事で、新しい魅力を創出・発信できる町づくりを進め、更なる関係人口を創出する事を、次年度の町政運営方針としている。

Q

早期に、庁舎整備検討を再開すべきでは？

A

町長



いつになる庁舎建設

庁舎整備は重要との認識に変わりはなく、平成30年8月の議会全員協議会等で説明したとおり、新庁舎建設に係る議論は無期限の延期である。

### 今の庁舎は大丈夫？

Q

教員・保護者・地域の方へ、理解促進をどの様に行うのか？

A

教育長

コミュニケーションの制度導入に向け、校長・教頭会を通し、教員の理解促進を図った。

また、平成31年4月に「町広報紙」や各学校の「学校だより」等で情報発信し、保護者や地域の方に理解を図った。



昔遊びにおける地域人材活用

本来の目的である「子ども達の成長に向けた意見の出し合い」に至らず、令和2年度は意見の出し合いをしっかりと行い、地域と共にも子ども達を育てていくための運営が必要と考える。

A

教育長

今年度運営して捉えた課題と今後の展開及び「学校支援地域人材バンク」の創設をする考えは？

Q

### 不十分な情報発信

### 地域人材の活用

問「みんなの学校」の理解促進を

答「教育長」保護者・地域への理解促進を図ってきた



# 問「元気あっぷむら公社」の 清算内容を町民に説明すべき

## 答【町長】説明できる立場でない

齋藤 誠治 議員



### 説明責任を果たせ

**Q** 清算した内容を、町民へ説明すべきでは？

**A** 町長  
 町は、元気あっぷ公社の株主であり、経営者ではない。  
 清算内容は、報告を受ける立場でしかなく、説明できる立場でない。

これまで、公社における取締役会や株主総会の審議状況は、株主として報告を受けてきたので、議会には適宜、知らせをしてきた。

### ＜清算による各株主への分配額＞

出資者	分配額	出資額
高根沢町	939,602円	27,000,000円
塩野谷農業協同組合	52,200円	3,000,000円
高根沢町商工会	52,200円	3,000,000円

### どうなる今後の運営？

**Q** 農産物直売所など、地域と連携し実施された事業やイベント等は、今後も継続されるのか？

**A** 町長  
 今後の運営は、指定管理者に決定した「㈱塚原緑地研究所」が、行政に無い専門性・経験・感覚を、事業やイベントに反映させるべきと考えている。

町は、指定管理者が町内外の事業者や地域住民の皆さんとの「WIN・WIN」の関係を築き、その力を運営に活かすことを期待しており、指定管理者と協議を密にし、助言や調整など側面的支援を行っていく。

## 問「上高小学校」の未来は

### 答【教育長】複式学級が



### 児童数減少に危機感

### 予想される

**Q** 令和2年度の新入学児童数は？

**A** 教育長  
 上高小学区内からは、3名が入学。  
 小規模特認校制度を利用し、他学区からの入学生は2名。  
 合計5名が、新1年生として入学する。

**Q** 今後5年間、学区内入学する児童数見込みは？

**A** 教育長  
 住民基本台帳を基に、令和2年2月末日の推計で、「令和3年度8名」「令和4年度8名」「令和5年度8名」「令和6年度12名」「令和7年度4名」の、入学が見込まれる。

**Q** 今まで以上に児童数が減少すると、複式学級の可能性が懸念される。児童数の増加に向け、今後の取り組みは？

**A** 教育長  
 現在の児童数から見ると、令和3年度に2、3年生が複式学級になることが予想される。  
 引き続き、小規模特認校制度の周知を図りながら、学校運営協議会を活用するなど、上高小が更に特色ある教育活動を実践できるよう支援し、児童数の確保を図る。



力を合わせる元気いっぱい「上高っ子」

また、小規模特認校制度、学区のあり方、学校の統廃合など、様々な観点から調査研究し、町全体の学校運営を検討する。



# 問自治会連合会の運営と在り方は

## 答【町長】連携を密に側面的支援



澤畑 宏之 議員



地域から区長がいなくなる？

**Q**

「区長会」が「自治会連合会」へと組織運営が変更されるが、課題はあるのか？

**A**

町長

令和2年度から、「地方公務員法」の改正で、「区長」という職が「非常勤特別職の地方公務員」の要件に合わなくなり、今年度末で廃止となる。そのため、区長会は令和2年度からの「地域と行政の連絡調整がどうあるべきか」を検討した。その結果、区長会の役割を継承し、自治会で組織する「自治会連合会」を創設するとの結論に至った。課題は、区長会で協議され、町に対し事務局機能を担う事や、財政措置・自治会活動支援施策などを講じる要望が出され、一定の解決が図られていると認識している。

自治会に入ろう！

**Q**

自治会加入率を増やすため、町は方策があるのか？

**A**

町長

自治会に加入する・しないは、個人の意思であり、強制できない。各自治会で話し合い、対応すべき課題である。町は、これまでも自治会活動の側面的支援に取り組んでいる。今後は、自治会連合会と連携をし、今までの取り組みを継続していく。



地域自治は、地域コミュニティから始まる (光陽台自治会の夏祭り)

問 ICT教育の推進を

答【教育長】ICT教育環境の整備を進める



教育環境は充分？

**Q**

ICT教育の実施状況は？

**A**

教育長

平成30年度に、全小中学校で1クラス分のタブレット型パソコン307台と、2クラスに1台の電子黒板38台、校務支援ソフトなどを整備し、ICT教育の推進に取り組んできた。

また、ICT機器の整備と併せて、「高根沢町学校ICT推進計画」を策定した。これにより、具体的なICT活用推進や、教員のICT指導能力の向上などを取り組んでいる。

早期整備は必然

**Q**

今後の教育機器の導入計画は？

**A**

教育長

さらには、令和2年度から小学校で始まる「プログラミング教育」に対し、「教材整備費」や「指導用デジタル教科書・教材等の整備費」を、令和2年度の予算に計上した。今後、整備したものを活用し、充実したICT教育に取り組む。



電子黒板の整備で授業が変わる

令和元年10月に、「町学校ICT推進計画」を見直し、児童・生徒一人1台のパソコン整備を目指すことにした。

また、12月には国の総合経済対策で、パソコン等の整備に補助制度の創設が閣議決定され、この制度を活用し、整備を進めていく。

これから社会に出る子ども達が持つべき「ICTスキル情報リテラシー・情報モラル」等を培うため、機器の整備を進め、ICT教育を積極的に取り組む。



# 実働できる自主防災組織を 答【町長】活動支援補助金等を創設した



森 弘子 議員



## 住民の自発的な対応

**Q** 各自治会に、自主防災組織があるが、災害時に自発的な活動ができるか疑問である。町は、実働できる組織作りの為に支援はしているのか？

**A** 町長

自主防災組織の実働性は、課題と捉えている。そこで、平成29年度に「自主防災組織活動支援補助金交付制度」や「防災士資格取得補助金交付制度」を創設し、現在までに12名が防災士の資格を取得している。



防災訓練で「AED」講習を受ける参加者

## 地域で守る

**Q** 3地区(太田・文挾・東高谷)の自治会は、独自に防災訓練を実施している。この訓練に、町は支援しているのか？

**A** 町長

3地区は、補助制度を活用して資機材を購入し、毎年、防災訓練を実施。太田は、消火・炊き出し・避難所運営訓練、煙体験を実施。文挾は、高齢者への災害事例講話、資機材の使用方訓練を実施。東高谷は、発電機、投光器等の使用方訓練、災害時要支援者マップ作成等を実施。町は、塩谷広域消防本部所有の「煙体験の装置」、「水消火器」の手配や、炊き出し訓練を行う場合に「日赤奉仕団」の紹介を行っている。

## 子どももの国保税均等割の減免実施を 答【町長】実施の考えはない

**Q** 国保税は、所得割・均等割・平等割で算出される。全国の25自治体で、独自に子どもの均等割の減免を実施している。本町でも、子育て支援として実施しては？

**A** 町長

国民健康保険特別会計は、採算独立が原則。法令で認められている事務費繰入金を除き、法定外繰入金は原則認められておらず、実施の考えはない。

## 令和2年度の税率

	算定基礎	医療給付分 (加入者全員)	後期高齢 支援金分 (加入者全員)	介護給付分 (40~64歳 の加入者)
所得割	元年中の所得から基礎控除(33万円)を引いた金額	8.2%	3.0%	2.0%
均等割	加入者1人当たり	26,000円	9,000円	8,000円
平等割	1世帯あたり	23,500円	8,400円	6,000円
限度額		620,000円	190,000円	170,000円

## 病を未然に防げ

**Q** 町は、令和2年度の重点取組に「特定健康診査」と「特定保健指導」の実施率の向上を掲げている。令和元年度の実施率と、今後の課題は？

**A** 町長

「特定健康診査」の受診率は、38.4%。「特定保健指導」は、事業実施中のため、直近の数値として、47.4%である。課題は、疾病の重症化を未然に予防する観点から、人工知能(AI)に基づいた被保険者への「特定健診受診勧奨事業」を継続し、受診率を向上させ、疾病の重症化を防ぎ、国保医療費の縮減も図っていく。

## 未納者への対応

**Q** 令和元年度に、国保税未納者へ行った差し押え件数と、その額は？

**A** 町長

令和2年1月未で、13件の差し押えを実施。内容は、預金1件、生命保険2件、報酬1件、賃料1件、不動産売買代金1件、国税・県税還付金7件で、総額175万6109円を差し押さえた。

# 議会報告会 『カフェ・ド・ギカイ』

## 子育て世代の声を聞く

町PTA連絡協議会15名の皆さんから様々なお意見が出されました。

令和2年2月14日（金）18：30～ 役場にて開催

### 安全対策

#### パ。ママ意見

持続的な子どもの安全のため、見守り体制の確立を。

#### 教育福祉常任委員会

安全安心かつ、持続可能な見守り体制を構築する必要があります。しかし、スクールガードの方だけでなく、多くの協力を得なければ実現できません。

学校教育課に、学校・地域・行政がスクラムを組み、子どもたちの安全を守る体制づくりの構築を提言しました。



子ども達の登下校を見守るスクールガード

### 子育て情報

#### パ。ママ意見

子育てしやすい環境を上手く発信する方法は？

#### 教育福祉常任委員会

子育て情報が、町民に行き届いていない現状があると認識し、「情報発信のあり方」を検討し、確かに情報が届き伝わるよう、こともみらい課に提言しました。

### 健康な体づくり

#### パ。ママ意見

子ども達の体力向上に向けた取り組みを。

#### 教育福祉常任委員会

子ども達の体力向上には、どのような事が効果的なかを調査し、また、各学年に合った体力向上について現状の把握、課題の抽出・改善ができるよう、学校教育課に提言しました。

### 人口増加対策

#### パ。ママ意見

児童数が減少しており、増加につながる政策を。

#### 建設産業常任委員会

市街化調整区域では、第三者が土地を購入し、新規に家を建てることは法令上は難しいのが現状です。

人口増加に向け、どのような手法がとれるのか、規制緩和も視野に入れ、土地利用の見直し等について調査・研究を行い、町に提言します。

### 抜本的な雨水対策を望む

#### パ。ママ意見

北区内に、雨水樹を設置したが、効果が少なく、抜本的な解決を。



雨水浸透槽の適切な管理を

#### 建設産業常任委員会

抜本的な対策は、道路側溝などの雨水排水整備が不可欠のため、市街地の雨水対策事業を早期実現できるように、町へ提言します。

また、当面の対策で、浸水箇所に雨水浸透槽による対応も有効であり、必要に応じて設置・適切な維持管理を要望します。

### 登下校の安全

#### パ。ママ意見

石末西原交差点から、天神坂交差点の町道は自転車通学の子どもの通って危険です。

#### 建設産業常任委員会

現場の状況を注視し、歩行者・自転車などの有効な安全確保、通行するドライバーへの注意喚起も含め、適切な対応を町へ提言します。

### 道路整備

#### パ。ママ意見

天神坂の交差点付近に歩道がなく、朝の通勤時間と重なり、登校が危険です。

#### 建設産業常任委員会

県道のため、安全対策に向けての対応を、県矢板土木事務所に要望するよう町へ提言します。

# 子育て世代が望む



のびのび  
♪♪



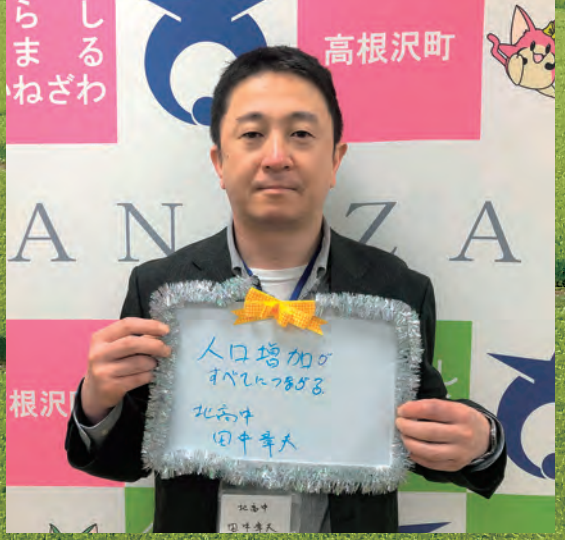
のびのび  
♪♪



のびのび  
♪♪



住みたい  
🏠



## 好きです♡たかねざわ

議会報告会に参加してくださった、各校のPTA役員の方に、高根沢町に望むものを聞いてみました。

この町で、子どもを産み育てる中で、各々が感じている事を率直に答えていただきました。「全ては子ども達のために」という言葉がばっちり当てはまるかの如く、この町の未来を託す子ども達のために、いま何が必要であるかを感じるコメントでした。

この特集ページでは、高根沢町が子育てに関する計画や、3月に行われた議会定例会で可決制定した「子ども条例」などをご紹介いたします。

### 高根沢町の子育て・学びの支援

妊娠・出産期から、乳幼児期、義務教育期、高校生までの、0歳から18歳になるまで、医療費の助成や、子育て支援、学びに関する支援など、本町で子ども達がすくすくと育つていけるよう、高根沢町では様々な制度を設けております。

下のQRコードを読み込んで、一度チェックを。

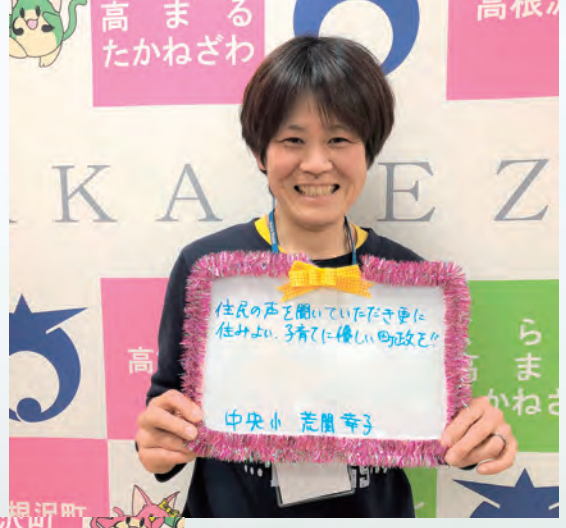


子育て・学びの支援パンフレット



子育て応援隊2019年度版

# 町の未来像



優しい♡



みんな仲良し♡



安心安全♡



キラキラ☆



## 子どもの学びの支援も規定した高根沢町子ども条例

子どもが健やかに育ち、学び、安心して子どもを育てる事ができる社会を目指し、「子ども施策」を総合的、継続的に推進するため条例を制定しました。

町の決意や、基本理念を定め、町の責務と町が実施すべき施策、保護者・地域住民・学校・事業者などの役割、子ども施策推進のための体制などを規定しています。

これを基に、基本計画を策定し、子ども施策を展開していきます。



子ども条例

## ニーズベース「おもて家」

「学校に行けない子ども達の権利を守るのは町の義務」という思いから、前町長である「高橋克法参議院議員」が、全国に先駆けて行政が設置するフリースペースを2003年9月に開設しました。

学校給食の提供や、学校復帰にこだわらない、子ども達が安心して通い・学べる場として全国から注目されており、平成28年に制定された「教育機会確保法」の原点とされています。



ひよこの家 案内町ホームページより

3月定例会 当初予算委員会報告 予算特別委員会 採決結果 議会臨時会 O.H豆知識 一般質問 特別企画

広報委員の突撃  
インタビュー  
あなたの声を町政に

## 学校を支えるPTA その中心で子ども達を 全力サポート!!

**森** 鯉沼さん、こんにちは。先日の、議会と町PTA連絡協議会との懇談会で、子育て世代から様々な意見が出て、とても良い刺激になりました。誠にありがとうございました。それでは、宜しくお願います。

### 理解ある町 「たかねざわ」

**森** まず、宇都宮市出身という事ですが、高根沢町の魅力について、何か感じる事はありますか？

**鯉沼** 場所や環境ではないのですが、行政や学校のスタンスですかね。地域の要望や、学校の教育環境などに対する改善要望の意見を理解していただき、住民意見をきちんと優先課題として取り組んでいただけている事は、すごく魅力的な町だと感じています。



上高小PTAは「ONE TEAM」で学校をサポート

### 地域力抜群の 「上高根沢」

**森** PTA会長として、学校と深くかわっていると思いますが、地域の方の協力や絆を感じる事があつたら教えてください。

**鯉沼** 学校の校庭整備に、地域の方が積極的に参加・協力していただいています。また、PTAバザーや運動会などにも多くの方が来てくださり、大きな支えになっていきますね。地域の絆があつてこそ、賜物だと思います。



学校の砂場を保護者の力で整備

### 学校規模での格差

**森** 町PTA連絡協議会の会長として、町全体でとらえる学校課題はありますか？

**鯉沼** 児童・生徒数の差による「教育機会の不平等」を、是正してほしいです。特に、学力・体力において、学校の人数で競争原理に差がある事や、中学校では部活動の数が違い、やりたい部活がなく、違う中学校に編入する生徒もいるので、何とかしてほしいですね。

### 子どもは地域の宝

**森** 子育て世代として、「あつたらいいな」と思う制度はありますか？

**鯉沼** 上高根沢の現状で、大きな課題は「少子化」です。子どもが欲しくてもなかなか出来ない方への「不妊治療全額補助制度」の創設と、不妊治療の効果が、子どもを育てたい方などに対する「里親制度相談窓口」を作れば、「少子化対策」の一助になるかと思えます。

### 地域間連携での まちづくり

**森** 最後に、町や議会に期待することは？

**鯉沼** 今までお話しした課題解決の他に、LRTが本田技研まで来るのに合わせ、隣接する町南部地域を上手に利用して、町が豊かに発展できるアイデアを出して下さることを、大いに期待しています。

取材を終えて

今回、鯉沼さんに話をお聞きし、地域や学校に対する具体的な課題が出され、私たち議会として、課題解決に向けて、しっかり取り組まなければと、強く感じました。また、鯉沼さんのように、「郷土愛」を持つ方が繋がり合うことで、活力ある高根沢町へと発展していけると確信しました。その一方で、町・地域に対する「郷土愛」を、子ども達に育むため、「家庭・町・地域・学校」がスクラムを組んで子育てをし、持続可能な地域・町づくりに繋げていくための教育が重要であると感じました。これから議会として、様々な世代と対話し、「オール高根沢」で未来に向けた町づくりを推進できればと思います。

